

黎明会在宅サービス総合センターが設置されてから今年で7周年を迎えました。介護保険制度が始まった当初は在宅介護支援センター（のちに地域包括支援センター）、居宅介護支援事業所、訪問看護ステーションがそれぞれの施設下で事業展開していましたが、その後、訪問介護、地域生活支援センター澄水が立ち上がり、5つの事業所がひとつのチームとなり在宅を支える重要な役割を担う施設（センター）となりました。

私は平成30年4月にセンター長を任命され今年4年が過ぎました。任命当初より私の目指す在宅生活

の基本は、「住み慣れた我が家で、自分らしく」です。

私が、最初に在宅介護の現場を経験したのは看護学生の時でした。

夏休みに、近くの病院から看護助手の誘いを受け、その時代始まつたばかりの訪問看護に同行したのです。訪問した患者様は若い男性でバイク事故が原因で頸椎損傷となり、下半身麻痺があり、一日中ベッドで過ごし外出も出来ない状態でした。テレビを観ること、漫

画を読むことが唯一の楽しみで身

体も自由に動かすことも出来ない

のですが、それでも訪問すると笑

顔を見せて、観たテレビや漫画の



在宅サービス総合センター

センター長 小川 容子

住み慣れた我が家で、自分らしく

黎明会だより	
No.159	
編集人	発行人
黎明会	福祉法人
〒187- 東京都小平市 0032 小川町1-485	
☎ 042-346-6611	
http://www.reimeikai.or.jp/index.html	

話をしてくれるのです。辛い生活のはずなのになぜ笑顔で過ごせるのか不思議でした。このような重度の患者が病院ではなく、家庭（住み慣れた我が家）が療養の場所になっていることに驚いたと同時に興味を持ちました。平成11年、訪問看護の世界に飛び込みました。この頃はだいぶ在宅サービスも増えていましたが、まだ途上段階で、看護師がヘルパーのような役割をすることもありました。特に印象に残っているのは目の不自由な姉と足腰の弱い妹の老人世帯です。週2回11時に訪問し、健康チェック、清潔ケアやおむつ交換を行った後にお昼の準備です。食卓に残り物のおかずを並べ、ご飯を盛り付ける。味噌汁を温めなおし、その中に好物の卵を2個、半熟になるまで煮詰め卵を2個、半熟になるまで煮詰める。まさに家事援助です。看護師であろうと医療以外の必要なサービスも行います。

ほかに身寄りもない二人が、お互いを気にかけ寄り添いながら、住み慣れた我が家で、笑顔にあふれ生活していました。施設には入りたくないと言っていた、そんな二人を今でも忘れる事はありません。

さて、介護保険制度が開始になりましたから、今年で22年、今ではサービス事業所も入所施設も増え、サービスも多様化してきました。今では条件さえ合えば本人の希望

する施設に入所することが可能です。しかし中には、住み慣れた我が家を選ばれる方もいらっしゃいます。入院生活後、自宅に帰りたいと希望される方も多く、それは住み慣れた我が家が安心した場所だからでしょう。家族やペットと過ごし、読書をしたり、音楽を聴いたり、好きなテレビを観たり、自分らしく自分のペースで過ごす時間は充実しています。自宅の環境は様々ですが、そこは落ち着く最高の場所なのでしょう。そんな中で最期を自宅で迎えられたらどんなに幸せでしょうか。

高齢になると老々介護となり、認知症状があつたり、日中独居だつたり、自宅での介護はサービスを使うことが必要になると思われます。また、金銭面によっては必要最低限のサービスを利用し、時には友人や近所、知り合いの手を借りなければ過ごせないかもしれません。それでも我が家で過ごしてよかつたと少しでも思って頂けるように、希望があれば最期まで過ごせるように、これからも在宅サービス総合センターの職員が一つとなり、皆様の在宅コーディネートが出来たらと思っています。

地域の皆様がいつも笑顔で、住み慣れた我が家（地域）で過ごせますように、これからも日々努力して参ります。

在宅で訪問看護に求められること

みなみだい訪問看護ステーション 所長 服部 紋子

みなみだい訪問看護ステーションは平成11年に開設して今年で23年になります。

現在訪問させていただいている利用者様は、脳血管、呼吸器疾患、難病、ガン末期の方、精神科疾患また、それぞれの疾患に対応し生活を基盤としたりハビリテーションなど理学療法士を含め10人のスタッフで伺わせていただいています。

国が推進する地域包括ケアシステムの中で看護の役割は、疾患を抱えながらも住み慣れた家で最後まで生活ができるよう専門的な知識を活用し、本人のケアとともにそれを支える「家族のケア」を大切に行なうことです。

特に、看取りなどは年間20例程度ではありますが、病いや死をめぐる困難な状況にいる人と会話をし続け、家族とともに人生の最後に寄り添うお手伝いができるることはとても尊いことですが、同時に個々に合わせた対応の難しさを感じる場があるので、日々新しい知識を得、コミュニケーション能力を高めていく必要があると思っています。



更に、連携において黎明会では包括、居宅、訪問介護・看護の事業が整っており、看護実践に求められる当事者の意思決定支援や家族全体を見る視点等を踏まえターミナルや看取りケアにおいても、チームとして情報共有しやすい環境にあることはとても心強いと感じています。

訪問看護ステーションに求められていることは、地域の方々が「小平で安心して生きていく」ために、疾患を抱えながらも利用者様が生活に満足感を得られながら看護の専門性を生かした支援が提供できることだと考えます。

今後も「安心して生活できる支援づくり」にチーム力を発揮していきたいと思います。

これからも、利用者や働く職員が笑顔であふれる施設づくりを目指して参ります。

だれもが自分らしく暮らすために

地域生活支援センター澄水 主任 大津 あかね

平成25年障害者総合支援法が施行され、障害者ケアマネジメントが相談支援として位置づけられました。

障害者ケアマネジメントとは、「障害者の地域生活を支援するため、ケアマネジメントを希望する者の意向を踏まえて、福祉・保健・医療のほか、教育・就労などの幅広いニーズと、様々な地域の社会資源の間に立つて、複数のサービスを適切に結びつけ調整を図るとともに、総合的かつ継続的なサービスの供給を確保し、さらには社会資源の改善及び開発を推進する援助方法である」と障害者ケアガイドラインに記されています。

平成27年4月以降障害福祉サービスを利用するには、サービス等利用計画の作成が必要とされるようになりました。

地域生活支援センター澄水では、サービス等利用計画の作成(特定相談支援事業)をはじめ、障害児相談支援事業、入所施設や精神科病院から地域生活への移行・生活の継続を支援する地域相談支援等(一般相談支援事業)を主任相

談支援専門員、相談支援専門員の2名が専従で担当しています。

近年相談件数の増加が広がっており、人工呼吸器や胃ろう等を使い日常的に医療的ケアが必要な子どもや、発達障害、強度行動障害、難病の方の相談も増えています。相談支援専門員は加齢に伴う障害の重度化や重複化に対応すべく、「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム」の構築など広範な障害や疾病・地域の課題と向き合い、学びを続けています。

小平市では地域生活支援拠点等事業が始動し、介護者の不在、障害の重度化等で緊急の対応が必要な事態が発生した際に、障害福祉サービス事業所、障がい者支援課、関係機関が連携して障害当事者を支援する体制の整備が始まっています。

当事業所も法人内外の事業所と連携し、小平市自立支援協議会や相談支援ワーキング等地域のネットワークを形成して、障害があつても高齢になつても地域で自分らしく暮らしたいという方たちを微力ながら支えています。

「オレンジカフェやき」開催8年目を迎えて

小平市地域包括支援センターけやきの郷

所長職務代理 三島 洋

当センターでは、「オレンジカフェやき」の開催を始めてから約8年が経ちました。「オレンジカフェ」とは、認知症の方やそのご家族が気軽に立ち寄り、安心して過ごせる場所のことです。地域の方も来られますので、地域の高齢者の交流の場ともなっています。

「オレンジカフェやき」では、認知症支援リーダーなどの方々に運営のお手伝いをしていただいています。参加者が一緒に唄を歌うなどのレクリエーションを行ったり、参加者同士が気軽に交流を図ることができます。また、参加者が認知症についての情報を得たり、気軽に認知症の相談をすることもできるようになります。

「オレンジカフェやき」では、今後も認知症の方や、そのご家族の方が安心して過ごせ、地域の方とつながれる居場所を提供していくことを考えてています。

開催日時は、毎月第4木曜日14時から15時30分まで、場所は上水新町地域センター（上水新町1-18）です。



オレンジカフェやきの様子

皆様のお越しをお待ちしております。申し込みは不要ですので、是非、お気軽に立ち寄りください。

【お問い合わせ】

小平市地域包括支援センター
けやきの郷
TEL 042 (349) 23321

【デイサービスとは】

デイサービス（通所介護）とは、介護保険において要支援・要介護の認定を受けた高齢者が利用できるサービスです。社会的孤立感の解消や心身機能の維持を目的として入浴や食事、健康状態の確認、機能訓練、レクリエーションなどのサービスが提供されます。

高齢になると、社会との繋がりが希薄になり、自宅へ引きこもることが多くなります。そのような刺激の少ない生活を送ることにより認知症を引き起こす要因になります。そのため、筋力も弱まることがあります。そのため、筋力も弱まることから寝たきりとなる可能性も高くなります。

デイサービスに通うことでの機能維持の効果が得られると同時に、社会的交流により脳が活性化され、認知症を予防する効果が期待できます。さらに、日中に要介護者が外出することで、日々介護をされているご家族などの負担軽減にもつながります。

【デイサービスやすらぎの紹介】

特別養護老人ホームやすらぎの園に併設するデイサービスとしてデイサービスやすらぎ（以下ディイサービスやすらぎ）を運営しています。

デイサービスやすらぎの園紹介

デイサービス係長 藤原 裕司

【生活ニーズ対応型デイサービス】

デイやすらぎでは、利用者の様々なニーズに応えられるようサービスを提供しています。その特徴的なサービスについてご紹介します。

①訪問理美容サービスの提供

「髪を切りに行きたいけど美容室に行くまでが大変」とお困りの方に訪問理美容サービスを提供しています。デイサービスの利用に合わせてヘアカットや髭剃りが可能です。

②きれいなお風呂でゆっくり入浴 デイやすらぎ自慢の大浴場でゆっくり入浴していただけます。入浴サービスは介護保険の制度上、要介護の方に提供されるサービスです。そのため、要支援の方の入浴をお断りする施設がほとんどですが、デイやすらぎでは要支援の方の入浴も積極的に提供しております。

③宿泊・入所サービスの提供 特別養護老人ホームやすらぎの園はシヨートステイ併設の施設です。ご家族の休息や、自宅で一人が不安な方に宿泊介護サービスを提供することができます。またご希望によつては施設入所も可能です。やすらぎの園は住み慣れた地域で暮らし続けたいというニーズに対し、通所から入所までサービスを提供できる施設です。

これからも地域の方に必要とするサービスを提供できるよう努めています。

介護老人保健施設 けやきの郷 訪問リハビリテーションについて

リハビリテーション課長 持溝 洋介

介護老人保健施設けやきの郷では、令和4年4月より訪問リハビリテーションサービス（以下訪問リハビリ）の提供を開始いたしました。

介護老人保健施設（以下老健）では、訪問リハビリを含む居宅サービスを提供していることが評価される介護報酬構造となっており、加算型の老健としての運営を継続していくために本サービスを提供していくことといったしまった。また、けやきの郷のリハビリ専門職員を有効に活用し、地域に貢献していくことも大きな狙いの一つになります。

けやきの郷の訪問リハビリが考える役割として①自宅に引きこもりがちな高齢者の社会参加の足がかりになること（可能なら当施設の通所リハビリテーションサービスに繋げていくこと）。②けやきの郷から機能維持をご自宅でも継続的な訪問リハビリを提供していくこと。③みなみだい訪問看護ステーションのリハビリ機能を補填する



阿部医師(施設長)による訪問診察の様子

訪問リハビリの大きな特徴として事業所の医師による診察を必要とする点があります。訪問看護ステーションからの訪問リハビリでは必要とされないため、ともすると二重診察になり、使い勝手の悪さを指摘されている一面もあります。

けやきの郷では施設長である阿部医師がご自宅に訪問し、ご利用者の状態を診察させていただいております。診察のみならずご要望や困りごと、夢や目標などに耳を傾けたうえで訪問リハビリ指示書を作成しており、利用者の皆様には喜んでいただいております。

令和4年8月現在では、酒田係長を中心に通所リハビリに従事する理学療法士3名が訪問リハビリ業務との兼ね合い、職員の急な休みの対応や新型コロナウイルスの感染流行時の対応など課題もあります。今後もサービスを提供していく上で利用者と職員双方の安全性の確保、通所と訪問業務の両立が継続できる環境作り、ご利用者の増加に伴う入所リハビリ担当スタッフの訪問リハビリ兼務なども検討していくことが必要です。今後のリハビリサービスとしては緩徐ではありますが、訪問リハビリ、通所リハビリ、入所リハビリの三つのサービスを着実かつ丁寧に提供していくことを前提として、引き続きリハビリテーション課スタッフ一同で努力を重ねて参ります。

訪問リハビリ立ち上げにあたり様々なアドバイスや利用者の紹介をしてくださいました各事業所の方には御礼申し上げます。

地域の高齢者が住み慣れた自宅で生活していくことをオール黎明会で支え、訪問リハビリがその一翼を担えるように精進して参る所存です。

訪問リハビリについてのご質問や実際のご利用についてのご相談は、リハビリテーション課の酒田宛にお問い合わせください。

引き続き介護老人保健施設けやきの郷へのご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

[訪問リハビリ相談窓口]
TEL 042 (345) 5321
担当 酒田



訪問リハビリスタッフ（通所リハビリ兼務）



ご自宅での訪問リハビリの様子

介護付き有料老人ホーム

熱海ゆとりあの郷のご紹介

社会福祉法人黎明会が運営している施設に介護付き有料老人ホーム熱海ゆとりあの郷があります。東京駅より新幹線でわずか50分というアクセスに加え温暖な気候や四季折々の自然が織りなす風景が魅力です。ここでは熱海ゆとりあの郷の安心・充実のポイントをご紹介します。

(武藤)

- 経営母体である当法人は歴史ある社会福祉法人で令和4年で創立77周年をむかえて病院・特別養護老人ホームなど医療・介護・生活支援等の事業を多角的に運営しております。
- 熱海ゆとりあの郷は、診療所を併設しており、すぐに医師や看護師に相談できます。
- 入居中に介護保険のサービスが受けられます。介護が必要になつても自室や一時介護室で介護保険のサービスを利用できます。
- 熱海駅へシャトルバスが1時間ごとに運行しています。
- 体操や絵画などのレクリエーションが充実しており、多彩なイベントやサークル活動があります。



熱海ゆとりあの郷では、毎月広報誌「ゆとりすと」を発行しております。

【お申込み・お問合せ】

熱海ゆとりあの郷「東京入居相談室」

TEL 0120(058)211
受付 月曜～金曜 9時～17時
担当 田中

東京都港区芝大門1-1-13

日本赤十字社ビル東館2階

熱海ゆとりあの郷
サマー・パー・ティの様子

7月30日(土) サマー・パー・ティ

総務・営業課長 脇田 寛美

来年こそは、ゲストの方もお呼びして飲食を楽しみながら盛大に開催できることを願っています。

- ベテラン調理師が作る、和・洋・中の食事をご用意しています。管理栄養士による栄養バランスのとれた食事で健康管理ができます。
- 温泉設備を有し、毎日入浴でできます。泡末湯、うたせ湯等7種の浴槽が楽しめます。
- 心癒される眺望が楽しめます。夏涼しく冬暖かい熱海特有の温暖な気候で生活できます。

コロナ禍前は、7月7日に七夕パーティ、8月上旬に屋外でビアパーティを開催していました。ビアパーティでは花火を見ながらビールを楽しむことができました。この2つの行事をあわせて盛大にとまではいきませんが、楽しい時間をご提供できたかと思います。

当日の15時にコーラスクラブのご披露から始まり、ダンスクラブ、有志の詩吟発表の次に、新人職員による出し物を皆様にご覧いただきました。昨年も好評でした屋内での(輪なげ、射的、ゲートボール、魚つり)縁日模擬店を開きました。計画段階では、16時半から席に着いていただき、唐揚げ、枝豆などをおつまみに生ビールを堪能していました。ただ予定でしたが、新型コロナウィルス感染症第7波の影響を受けこの飲食は中止となりました。



ダンスクラブの発表の様子



縁日模擬店の様子

**グループホーム澄水
新規ユニット「こまち」開所**

澄水園

自立生活支援第3課長

川合 博之

令和4年度事業計画に掲げました、障がいを有する人が住み慣れた地域で地域の人たちと一緒に地域生活を営む場として、グループホーム澄水に新ユニット「こまち」が8月に開所いたしました。

「こまち」は女性専用7名定員のグループホームで、新築物件を賃借し、西武鉄道拝島線東大和市駅から徒歩3分程度の場所に立地しております。澄水園はグループホーム澄水のバックアップ施設として、施設長はじめ各課、各専門職が一丸となり入居者一人ひとりのニーズに合った、その人らしい暮らしを続けていくグループホームの開所へ向けて取り組んできました。



外観・正面玄関入口です。玄関前には駐車スペースも確保しております。作業所や生活介護利用者の送迎車への乗車も安全に行えます。

多くの皆様のご協力やご支援があり「こまち」は開所することができます。これに慢心することがなく常に入居者様のため、より良い支援を提供できるグループホームであります。



1階のお風呂場です。車椅子の入居者様も安心して入浴できるように手すりや広いスペースを確保しています。心も身体も温まるお風呂場となっています。



1階のリビングは、日当たりも良く、ゆったり過ごせる広いリビングとなっています。



福祉車両 日産セレナ 電動リフト車両

中央競馬馬主社会福祉財団
東京馬主協会からの補助金で
新車の福祉車両納車

澄水園庶務課長 金井 真路
令和4年6月29日「中央競馬馬主社会福祉財団」及び「東京馬主協会」から施設整備等助成金の交付を受け、念願の福祉車両が納車されました。この車両はワンボックスタイルの車両で大型の車椅子1台を電動リフトで乗車させることができます。また、衝突防止やドライブレコーダー等の安全装備も備えております。特に、澄水園の利用者は重度化・高齢化が顕著であり、車両の利用頻度も多くなると思います。主に、通院送迎で使用しており、大型の特殊な車椅子の利用者もゆったりと安心して利用している様子がうかがえています。

最後に、助成を頂いた馬主協会の皆様にお礼を申し上げるとともにご報告させていただきます。

法人研修を受けて

「意思決定支援研修」

あかつき

介護職員 長谷川 美加

意思決定支援研修を受け、「私の生活は私が決めている」何気ない毎日の中で日々、自分の意思で動き決定している。

この研修を受講する前は当たり前すぎる自身の生活をまじまじと考えたことは殆どありませんでした。

施設で働く職員として、利用者の生活を支援していますが、その生活の中に利用者の意思はきちんと反映されるだろうか?職員指導で日々の支援が決定されていないうだろうか?きちんと利用者と向き合えるのだろうか?と考える機会となりました。

何気ない毎日の繰り返しだからこそ、今回の研修で知りえた知識は「利用者との向き合い方を見つめなおす」きっかけとなり、「知る事」で相手の想いや能力を生かす支援に繋げたいと感じました。

「グリーフケア(基礎編)」

澄水園

自立生活支援第2課長 荒木 努

グリーフケアとは、亡くなられた方の周りに居る家族、友人に対してのケアすることであると認識していました。

『死をイメージする』

『死』。あなたはどのようにイメージしますか?研修では理想の死、望まない死をそれぞれ発表しました。「みんなとお別れをしてから死にたい」「ドラマのように人をかばい死ぬ」「苦しみたくない」「孤獨死は寂しい」などありました。

自分が死ぬならと考えるといろと欲が出てきます。実際その

「尊厳」という言葉の意味が、自分の中で、存在感を増していく実感を持ちながら、職場や家族、地域での自分が少しづつ変わっていくような気がします。

この2年間で、自分を取り巻く世界が広がっていったような幸せを感じています。

ますます、人間が好きになりました。

黎明会ケアスクール

卒業生の声

介護福祉士実務者研修に参加して

田浦 雅人

社会人になってから、これ程苦しい思いをして勉強したことはなかったと思います。

結局、素敵な仲間と、心からの愛情を注いで下さった講師の皆さんのお陰で、最後までやりとげることができたと思います。

コロナ禍に始まり、戦争、そして元総理の銃撃と、まさに激動の時でした。こんな状況下であるにもかかわらず、日々、目の前の一人のために尽くしている講師の皆さん姿に、どれだけ励まされたか分かりません。



令和4年度 介護福祉士実務者研修 4月生

市民公開講座開催のご案内

講師：けやきの郷施設長

阿部和也氏（医師）

「よりよく生きるために死生学」

日時：令和4年10月22日（土）

午後2時開始

会場：黎明ホール

定員：会場25名 オンライン25名

【お問い合わせ・お申し込み】

042-346-6611 市民講座担当

ありがとうございました

寄贈者ご芳名(順不同)

令和4年4月・5月・6月

★ 物品

小平市役所様
日東工器株式会社様
匿名 3名様

行事予定

10・11・12月()内は日付

黎明寮

秋祭り※施設内(14)
バーベキュー(上旬)
クリスマス会(16)

あかつき

秋まつり(22)
クリスマス会(16)

やすらぎの園(従来型)

クリスマス会(10)
やすらぎの園(ユニット型)

◆デイサービスやすらぎ
クリスマス会(中旬)

◆澄水園
10月 秋まつり(26)
11月 クリスマス会(21)

◆のぞみ作業所
10月 保護者会(10)
11月 みんなで作る音楽会(3)
忘年会(28)

◆けやきの郷

ゆず湯(冬至)
クリスマス会

◆在宅サービス総合センター

オレンジカフェ(27)
オレンジカフェ(24)
オレンジカフェ(22)
※オレンジカフェとは認知症カフェのことです

時間 14時~15時30分
場所 上水新町地域センター2階和室

◆熱海ゆとりあの郷

防災訓練(17)
運営懇談会(24)
クリスマス会(24)
餅つき大会(28)

※新型コロナウイルス感染症の状況によっては中止する場合があります。



黎明会の運営理念
| 五つの目標 |

- 利用者の立場で考え、心のこもったサービスを提供します。
- 保健・医療・福祉の総合機能を活かし、質の高いサービスを提供します。
- 地域と協働し、広く社会に貢献します。
- 常に自らを磨き、活力ある職場づくりに努めます。
- 福祉事業のパイオニアとして、時代が求めるものを目指します。

南台病院 診療科目一覧表

☎ 042(341)7111

[受付時間] 午前 8:00~11:00
午後 14:00~17:00

診療日	内科	消化器内科	循環器内科	精神科	リハビリ科	皮膚科	歯科
月	○	○	○		○		○
	○		○		○	○	○
火	○	○	○		○		
	○	○			○		
水	○	○	○	○			○
	○	○	○				○
木	○	○	○	○	○		
	○				○		
金	○	○	○		○		
	○	○			○	○	
土	○	○	○		○		
	○		○				

◆黎明会が経営している施設・病院◆

〒187-0032 東京都小平市小川町1-485
◇黎明会法人本部総務局
◇在宅サービス総合センター
小平市地域包括支援センターけやきの郷 ☎042(349)2321
指定居宅介護支援事業所 ☎042(345)5343
みなみだい訪問看護ステーション ☎042(341)8880
訪問介護ステーションみなみだい ☎042(346)1171
在宅・福祉用具相談取次事業 ☎042(346)1171
地域生活支援センター澄水(障害児等相談事業) ☎042(346)7412
◇障害者支援施設 澄水園 ☎042(346)7411
◇救護施設 黎明寮 ☎042(341)0336
◇救護施設 あかつき ☎042(341)4711
◇特別養護老人ホームやすらぎの園 ☎042(345)0617
◇デイサービス やすらぎ ☎042(313)4040
◇診療施設 南台病院 ☎042(341)7111
◇介護老人保健施設 けやきの郷 ☎042(345)5321
◇けやきの郷 デイケア ☎042(349)0770
◇けやきの郷 訪問リハビリテーション ☎042(345)5321

〒187-0001 東京都小平市大沼町2-12-5
◇指定就労継続支援B型事業所 のぞみ作業所 ☎042(342)5711
〒187-0025 東京都小平市津田町2-5-5
◇指定共同生活援助グループホームどりーむ・のぞみ ☎042(347)6160
〒187-0032 東京都小平市小川町1-444-28
◇指定共同生活援助 グループホーム第2どりーむ・のぞみ ☎042(343)5060
〒187-0032 東京都小平市小川町1-497-8
◇指定共同生活援助 グループホーム澄水(こだま) ☎042(345)8383
〒187-0032 東京都小平市小川町1-495-1
◇指定共同生活援助 グループホーム澄水(やまびこ) ☎042(341)5656
〒187-0032 東京都小平市小川町1-365-16
◇指定共同生活援助 グループホーム澄水(こまち) ☎042(346)5166
〒413-8566 静岡県熱海市西熱海町1-24-1
◇介護付有料老人ホーム 热海ゆとりあの郷 ☎0557(81)2322
◇热海ゆとりあの郷診療所 ☎0557(81)5215